

# 助動詞“会”の語義探究及び“能”との対比

魯 曉 琨\*

## Abstract

In this paper, at first, I newly classified the meanings of “会” and defined it. Then I tried to compare “会” with “能” systematically. I classified “会” into three headings and named them “会1”, “会2” and “会3” for convenience. There was a clear distinction between “会2” and “能”. Therefore, the comparisons between “会” and “能” were confined to the comparisons between “会1” and “能” and between “会3” and “能”. I focused on cases in which distinctions between “会1” and “能” or “会3” and “能” haven't been defined. I considered both words in terms of their meanings and uses and point out the similarities and the dissimilarities between the two. Finally, I reached the conclusions about a method for distinguishing between them.

## 0 はじめに

“会”はよく使われる助動詞である。授業で“会”を教える際、同時に“能”との対比は避けて通れない。“会”と“能”の区別については、教学上早い時期の解決が必要とされているため、これまで“会”に関する論文や文法書のどれもが“能”との対比を行っている。従来の研究においても、ある程度の問題解決にはなっているもの<sup>(1)</sup>、“会”と“能”の区別についての体系的な解決には至っていない。これらの研究は一般に“会”を「技能」を表す“会”と、

---

### The meanings of auxiliary verbs “会” and the comparion with “能”

\*Lu Xiaokun

Correspondence Address : Faculty of Business Administration, Bunkyo Gakuin  
University, 196 Kamekubo, Oimachi, Iruma-Gun, Saitama  
356-8533, Japan.

Accepted October 11, 2002.      Published December 20, 2002.

「蓋然性」を表す“会”に分けて<sup>(2)</sup>いる。「技能」を表す意味においては、“能”の範囲が“会”よりも広いことが知られており、“能”を用いることができるが、“会”を用いることができない範囲ははっきりとしている。しかし反対に“会”がすべて“能”で入れ替えられるかどうかについてはまだ研究がなされていない。蓋然性を表す意味においては、許和平（1992）以来いくつかの先行研究の中で“能”がほぼプラスの意味に用いられるのに対し、“会”はプラスの意味以外にマイナスの意味にも用いられるという違いが明らかにされたが、プラスの意味を表す時の“会”と“能”の共通点と相違点についてはまだ検討がなされていない。

“会”と“能”の使い分けという問題がまだ真に解決されていない原因は、これまで“会”の語義について、深く探究がなされておらず、ただ単に“会”を「技能」と「蓋然性」とに分けていることにある。また、“能”の語義についても同様に、“会”の意味に対応する「能力」と蓋然性という形であいまいに語られるのみである。使用言語資料から見ても、一部の常用例文に限られている。このように表面的な研究では“会”と“能”の全貌を解き明かすことも、“会”と“能”の語義や用法の違いを明らかにすることもできないであろう。

このため、魯（2001）において120万字の言語資料の検索を行い、“能”の基本語義と語義構成条件を体系的に検討した。本稿ではまず“会”の語義を解明し、“能”と“会”の紛らわしい語義範囲を確定した。“会”と“能”の弁別においては、まず動作主の技能を表す“会”が“能”で入れ替えることができる語用範囲と条件を明らかにした。次に主観的推測を表す時の“会”と“能”の語義の共通点と相違点及びその条件を探り出した。両者の語義の共通点と相違点によって、互換できる範囲と互換できない範囲を明らかにし、更に“会”の使える範囲、“能”の使えない範囲を定めることができた。本稿の中で新たに解明された点に、これまでの定説を加えることによって、“会”と“能”の使い分けはほぼ解決できたと思う。

## 1 “会”の語義分析

本文では“会”の言語事実を基に、“会”の語義項目に新しい分類を行った。ここでは三つの項目をもうけ、便宜上それぞれ“会1”、“会2”、“会3”とする。

会1：動作主の技能を表す。

会2：現実に存在する必然性を表す。

会3：主観的に未知のことを推測する。

### 1.1 “会1”は動作主の技能を表す

A組

[1]她的母亲是奥地利人。曼利小姐自己是英国籍，会说一口流利的英语。（池・云）

[2]由于小丁是生平第一次搭自行车，不会上车，蹦跳了几次才上去。（池・化）

B組

[3]人是会思考的动物。(相原 1997)

[4]老鼠生来会打洞。(相原 1997)

C組

[5]孩子会爬了。(相原 1997)

[6]孩子会走路了。(相原 1997)

A組の用例は一部分の人の持つ技能を表し、B組は人類あるいはある種の動物が持つ技能を、C組は子どもが成長期に自然に習得した技能を表している。

ここで“会1”の語義に含まれている違いに気づく。上に挙げた用例の違いは対比する物の違いから起こっているのである。A組では比較の範囲が人類であり、人と人の比較を通して“会不会”が語られ、B組では比較の範囲が人を含む動物で、人と動物の比較、あるいは動物と動物の比較を通して“会不会”が、C組では比較の範囲が子どもの成長期の異なる段階で、先の段階と比較して“会不会”が語られている。AとBを「横方向の対比」と呼ぶ。すなわち動作主と他者、あるいは他の種類との比較である。Cを「縦方向の対比」と呼ぶ。すなわち動作主自身の異なった成長段階の比較である。

なお“会1”というカテゴリーの成員間で差が見られる。これはこの三組の使用頻度の差から判明した。“会1”の各組の使用頻度は次の通りである。

会 1			
用例数	A組	B組	C組
	92	3	3

使用頻度からA組は“会1”の典型的な成員—プロトタイプであり、B、C組はプロトタイプからかけ離れた周辺的なものであることがわかる。<sup>(3)</sup>

## 1. 2 “会2”は現実に存在する必然性を表す

A組

[7]人类这种生物肯定也不是纯粹的，就像一块草坪上会混进一些杂草一样。(池·云)

[8]像虫子会对农药产生抗药性一样，我对杜梅的歌斯底里和恐喝症也渐渐习以为常。

(王·过)

[9]当某种事物一旦突破极限，事物的实质就会发生突变。(池·云)

[10]既然你摆了场子，就会有输赢。生死有命，富贵在天。(池·你)

B組

[11]秦静从心里瞧不起谁她就会用腼腆和胆怯的方式与之拉开距离。（池・霍）

[12]只要谁能谦虚地听完他的这一套老生常谈，他一般就会考虑谁的要求。（池・霍）

[13]要是他的话，他总得把他们请到后台喝茶。于是就会有那么一位，自动跑上台去，当场送一幅障子，给他捧场。（老・鼓）

[14]有时我也想到杜梅，独处时或看电视时思绪会突然飘落到她身上，过去我们共同生活的一些片段会有生有色极其生动地出现在我眼前，令我久久怅然。（王・过）

上に挙げた例はいずれも現実存在している必然性を述べている。A組では時間を超えた必然の法則を表し、B組では現実に反復して現れる状況を示しており、反復する点において規則性<sup>(4)</sup>がある。

### 1.3 “会3”は主観的に未知のことを推測する

“会3”が示す主観的な推測とは一般に話し手が行うもので、[15]のように未来に対しての推測でも良いし、[16]のようにすでに発生したことの原因等未知の状況に対してでもかまわない。未来も一種の未知とみなせるから、「未知」とまとめたのである。

[15]“也许分手之后，我们冷静了，有了更多的比较和思考，没准将来还会走到一起，起码会成为好朋友，人生知己。”（王・过）

[16]为什么会遇见你呢？又没认出你是坏人，差点毁了一生。（王・无）

しかし，“会3”を用いる主述フレーズあるいは動詞フレーズが目的語の位置に来ると、主観的な推測は全体の主語によってなされる。述語動詞が“认为，以为，觉得，认定，知道，担心，想，盼”等の場合である。たとえば、

[17]他一个劲儿地抽，不光是为过瘾，还觉得这样会抬高他的身份。（老・鼓）

例[17]の“这样抬高他的身份”は全文の主語“他”の推測である。

なお，“能”との対比を考えると，“会3”を二種類に分ける必要がある。

#### I ある条件に基づいて行為の実現，または性状の出現を推測する

[18]似乎他们认定我将来会成为一个了不起的人，而这点在当时我自己一点把握也没有。（王・动）

[19]领导说“你今年少包一个棉区，你是太累了。再说今年上头保证不打白条，工作肯定会结束得早一些。”（王・紫）

[20]只要做好宣传，很多人都会立即认识到你们这项工作的意义。（王・你）

[21]你要五点整去找我，肯定会在办公室门口遇见我。也许你表慢了五分钟。（王・枉）

これらの特徴は、推測される行為がすべて「主体がコントロールできない行為」で、しかも、推測されるのが行為に限らず、形容詞からなる述語で表される性状でも可能だということである。この時、行為の実現又は性状の出現は、客観状況によるだけで、“会3”はある条件に基づいて行為の実現、性状の出現を推測するのに用いられる。[18]で“我将来成为一个了不起的人”は動作主“我”がコントロールできることではなく、“他们”が“我”の条件を見てな

された推測である。[19]で“工作肯定会结束得早一些”は“今年上头保证不打白条”による推測である。その他の用例も同じように説明できる。

## II 動作主の主観的な決定を推測することを通して、行為の実現を推測する

[22]她回头一看，发现得屋是回家以后疯的，而不是象大家认为的在外面疯的，她再也不会回家了。咚儿打定主意从此不再回家，所以三年里只给家里寄了三封信。(池・你是)

[23]在舒适的异国他乡，有一个终身视我为迷的外国丈夫，同样，我也不会去了解他，我们至死都保持着对彼此的神秘。(池・你)

[24]我坐在人民纪念碑的长方阶上等吴迪。我也不知道她会不会来，爱来不来，反正今天天气不错，暖风熏熏。(王・一)

[25]其实你们即便请我，我也不见得会去。(王・你)

これらの特徴は、推測される行為がすべて「動作主がコントロールできる行為」で、且つ、行為実現が動作主の主観的な決定によってなされるということである。このため、行為の実現を推測するには動作主の主観的な決定を推測しなければならない。“会3”は動作主の主観的な決定を推測することを通して、行為の実現を推測するのに用いられる。[22]で“她回家”かどうかは客観的な条件によるのではなく、“她”自身が決めることであって、話し手が“不会”を使って“她”が主観的に“不回家”と決めたことを推測する。[23]で“我去了解他”かどうかは客観的な条件によるのではなく、“我”自身が決めることであって、話し手“我”が“不会”を使って“我”が主観的に“不去了解他”と決めたことを推測する。そのほかの例も同じように説明できる。

## 2 “能”と“会”の紛らわしい語義範囲の確定

### 2.1 “能”から、“能”と“会”の語義の紛らわしい部分を見る

魯(2001)は“能”を用いる文を「X能Y」に分け、“能”の中心語義を「XにYを実現する、あるいはYに到達する条件が備わっていることを示す」とまとめ、Yの実現、到達時にXに必要な条件を“能”の語義構成条件と呼んでいる。“能”の語義構成条件を「信頼条件」(可靠条件)と「非信頼条件」(非可靠条件)に分け、その下位にそれぞれ「内的条件」「外的条件」「願望条件」が含まれている。

I 信頼条件：“能”の語義構成条件は一種の客観事実として存在し、話し手がYを実現できると判断する時に信頼できる根拠になる。

(1)内的条件：生命があるものの「能力」と生命がないものの「用途」と「作用」を指す。

[26]他的腿伤好多了，能慢慢儿走几步了。(八百词)

[27]我看看李百玲，她总是能很快缩短和一个男人的距离。(王・橡)

[28]任何一味药都不能说是包治百病。(王・你)

[29]他写的那些吟风弄月，怜香惜玉的小诗很能赚女学生的眼泪。（王·浮）

(2)外的条件：客観的な環境による条件

[30]时间还早，九点钟以前能赶到。（实用）

[31]人与车都有相当的漂亮，所以在要价的时候也还能保持住相当的尊严。（老·祥）

[32]因为缺少教员，暂时还不能开课。（八百词）

[33]方方一拳打倒警官，转身跑进电梯，其他警察冲进来，按住电梯呼唤板，使她不能开走。（王·过）

(3)願望条件：行為主体の願望による条件

[34]能舍得钱的人自然是实在诚实的人。（池·你是）

[35]首先希望你我能互相信任。（池·你）

[36]尽管我知道她是无心的，但我也不能原谅她。（王·过）

[37]丁曼接着说：我不能服侍谁一辈子。我的理想和追求是快快乐乐过一生。（池·你）

II 非信賴条件：“能”の語義構成条件は話し手が自分の生活経験に基づいて主観的に断定するもので、Yを実現できると信賴できる根拠にはならない。

(1)内的条件：

[38]相信所长吧，他既能找到咱们，也就必定能给咱们找到妈妈。（老·全）

[39]这点光明丝毫不能减少将来的黑暗，他们自己也因此在擦着汗的时节常常微叹。  
（老·祥）

(2)外的条件：

[40]要是我做生意，我就发明一种念奴娇防沙罩，准能让京城女性纷纷解囊。（王·橡）

[41]于观说：不如此我们的事业就不能发展。（王·你）

(3)願望条件：

[42]曹先生是“圣人”，必能原谅他，帮助他，给他出个好主意。（老·祥）

[43]“我爹妈能让我去上学吗？”“我去跟他们说。”（老·鼓）

“能”の語義構成条件が「信賴条件」である時，生命を持つものの能力に当然「動作主の技能」も含まれる。このため，“能”が「動作主の技能」を示す時に，語用においては“会1”と紛らわしい部分がある。

“能”の語義構成条件が「信賴条件」である時，“能”は自己の判断を一種の客観事実として伝達し，話し手の主観態度を直接表すわけではない。したがって，この時の“能”は“会3”と紛らわしいことが生じない。しかし，“能”の語義構成条件が「非信賴条件」である時，話し手は自分の生活経験を判断の根拠とし，主観性が発生する。この時の“能”は主観的な推測を表す“会3”と隣接し，紛らわしいことが生じる。たとえば，

[44]他不能（\*会）来了，他刚才来电话了。（信賴条件）

[45]这么晚了，他不能（○会）来了。（非信賴条件）

[44]の“能”は「信頼条件」であるため，“会3”とは紛らわしいことが生じなく，“会3”と対比する対象とならないが，[45]の“能”は“会3”と紛らわしいことが生じ，“会3”と対比する対象となる。したがって語義の構成条件が「非信頼条件」である“能”は語義においては“会3”と紛らわしい部分がある。

以上，“能”からの“能”と“会”の語義が紛らわしい部分を下表にまとめる。

		“能”の語義									
		XにはYを実現する条件が備わっている							XにはY Yに到達する条件が備わっている		
		”会”の代替の有無	”能”の語義構成条件	信頼条件	未 然	内的条件	能力	有技能に限り	用途	無	作用
外的条件	無										
願望条件	無										
已然	無										
		非信頼条件		有					有		

## 2.2 “会”から“会”と“能”の語義の紛らわしい部分を見る

本稿は“会”に三つの項目“会1”，“会2”，“会3”をもうけた。そのうち，“会2”は“能”と紛らわしいことがなく，“会2”のA，B組のすべての用例にある“会”は“能”で入れ替えができない。A，B組の各一例を挙げる。

[46]人类这种生物肯定也不是纯粹的，就像一块草坪上会（\*能）混进一些杂草一样。  
（池・云）

[47]秦静从心里瞧不起谁，她就会（\*能）用腼腆和胆怯的方式与之拉开距离。（池・霍）  
そのため，“会”と“能”の対比は下記の範囲に限られる。

- I. 動作主の技能を表す時の“会1”と“能”の対比
- II. 主観的な推測を表す時の“会3”と“能”の対比

すでに明らかになったように“能”はほぼプラスの意味に用い，“会”はマイナスの意味にも用いられることは上記のIにもIIにも適用できる。ここではプラスの意味を表す時の“会”と“能”の違いを明らかにする。以下，プラスの意味の用例のみ分析の対象とする。

### 3 “会1”と“能”の語用範囲と条件

「能力」を表す時の“能”と“会1”の違いに関しては、すでに定説がある。本文の用語で言うと、以下のようにまとめられる。“能”の使用範囲は“会1”よりずっと広く、“会1”は「動作主の技能」を表現するだけであるが、“能”は各種の「能力」を表す。しかも、「動作主の技能」を表す時にも“能”は“会1”よりカバー範囲が広い。それは“能”が「技能の回復」と「技能の到達程度」を示すことができるからである。このことから、どのような状況で“能”だけが使え“会1”が使えないかを知ることができる。しかし、どのような時に“会1”だけが使え、“能”が使えないかについてはまだ分かっていない。“她会／能说汉语。”という例から学習者は“会1”は“能”で入れ替えられるという結論を得るが、決してそうでもない。

筆者が120万字の中から検索した“会1”A組の264例のうち240例はI組のように“能”での入れ替えができない。24例はII組のように“能”での入れ替えができる。

I組：“能”での入れ替えができない“会1”

[48]她没有唱，她不会（\*能）唱歌。（池・云）

[49]“你踩我脚了。”“我不太会（\*能）跳。”周瑾抱歉地说。（王・给）

[50]“这天这么热，才几月份。”她嘟嘟囔囔地抱怨。“你会（\*能）游泳么？”“不会（\*能）。”  
（王・浮）

[51]他不喜欢睡觉的地方有饭菜味儿，秀莲很赞成，她压根儿不会（\*能）做饭。（老・鼓）

II組：“能”での入れ替えができる“会1”

[52]外国老板看中了这位小姐的一个优点：会（○能）说一口流利的英语。（王・过）

[53]美已经是别人，她只是一个半老的可恶的不会（○能）生育的废物妇女。（池・云）

[54]孟先生，您聪明，会（○能）写点东西，只要您肯认真，您还能有用处。（老・方）

[55]我会（○能）下笔万言，引经据典地写状子！（老・荷）

「動作主の技能」を表す“会1”の90%は“能”で入れ替えられない。仮に“能”を使うと、「技能」以外の意味が加わる。特に“不能”には“禁止”の意味もあるから、“不会”が“不能”で入れ替えられる範囲は更に制限されるわけである。例[48]を“她没唱歌，她不能唱歌”にすると、「歌を歌えない」のは「技能」の問題ではなくなってしまう、歌を歌う能力を一時的に失ったとも理解できるし、何か外的な条件のせいで歌うのを許されないとも考えられる。例[51]の“她压根儿不会做饭”を“她压根儿不能做饭”にすると、「技能」の問題ではなく、「技能」以外の能力問題として理解されるわけである。そのほかの用例も同じように説明できる。

“会1”が“能”で入れ替えられるかどうかは、“会1”の後にある行為の特徴と関係がある。“会1”の前に時間詞などを加えて（たとえば“你今天\_\_\_\_\_吗？”）行為の特徴をチェックすることができる。



“会1”が“能”で入れ替えられないものはすべて上の書式“你今天\_\_\_\_\_吗？”に当てはめることができる。たとえば、

[56]你今天能唱歌吗？

你今天能跳舞吗？

你今天能游泳吗？

你今天能做饭吗？

“会1”が“能”で入れ替えられるものは、すべて上の書式に当てはめることができない。

[57]\*你今天能说一口流利的英语吗？

\*你今天能生育吗？

\*你今天能写点东西吗？

\*你今天能下笔万言，引经据典地写状子吗？

“你今天能\_\_吗？”という書式に当てはまるのは、行為の実現が技能以外の条件にもかかっているときである。このため、“能”がこれらの行為の前に用いられると、単純に「技能」を表すことができないので、“会1”は“能”での入れ替えができない。反対に“你今天能\_\_吗？”という書式に当てはまらないのは、行為の実現が「技能」にのみかかり、外的条件とは関係がないときである。このとき、“能”はこれらの行為の前に用いられ、「技能」の語義を示すだけなので、“会1”は“能”での入れ替えができる。

以上はすべて“会1”のプロトタイプとするA組の用例に関する検討結果である。B、C組の周辺用例は“能”に入れ替えられるが、それも行為の実現が「技能」にのみかかるからである。

[58]骆驼不会（○能）过山，他一定是来到了平地。（老·祥）

[59]三千多善良的人民变成死尸，刚会（○能）说话的小儿的身上挨了三刺刀！（老·无）

以上の分析から、行為の実現が「技能」にのみかかっている時は“能”を用いて「動作主の技能」を表すこともできることが分かった。そこで、筆者は“能”の使用状況も調べてみた。同じく120万字を調べた結果、「動作主の技能」を示した“能”はたった1例であった。

[60]她也能（○会）做诗什么的吗？戈玲问。（王·编）

この考察により授業では「技能」の有無を示す時は“会1”を用い、一般に“能”は用いないと説明することが可能である。

## 4 “会3”と“能”における語義の共通点と相違点

### 4.1 “会3”と“能”の語義の共通点

推測される行為が「動作主のコントロールできない行為」である際、“会3”と“能”は基本的に入れ替えが可能である。このため、“会3-I”を“能”に入れ替えるのは可能である。次に“会3-I”の例を挙げておく。

[61] 似乎他们认定我将来会（○能）成为一个了不起的人，而这点在当时我自己一点把握也没有。（王・动）

[62] 领导说“你今年少包一个棉区，你是太累了。再说今年上头保证不打白条，工作肯定会（○能）结束得早一些。”（王・紫）

[63] 只要做好宣传，很多人都会（○能）立即认识到你们这项工作的意义。（王・你）

[64] 你要五点整去找我，肯定会（○能）在办公室门口遇见我。（王・枉）

同様の条件で，“能”を“会”に入れ替えることもできる。

[65] 我说：“你以为你出国就一定能（○会）发财？”（王・许）

[66] 于观说：不如此我们的事业就不能（○会）发展。（王・你）

[67] 这点光明丝毫不能（○会）减少将来的黑暗，他们自己也因此在擦着汗的时节常常微叹。（老・祥）

[68] 要是我做生意，我就发明一种念奴娇防沙罩，准能（○会）让京城女性纷纷解囊。（王・橡）

なぜ推測される行為が「動作主のコントロールできない行為」である時，“会3”と“能”は基本的に交換が可能なのか。推測される行為が「動作主のコントロールできない行為」である時，行為実現がある種の条件にのみかかっている。“会3”も“能”もある種の条件に基づいて行為の実現を推測することができるから，“会3”と“能”が互換できるわけである。

そこで，“会3”と“能”の語義の共通点はある種の条件に基づいて行為の実現や性状を推測するとまとめられる。以上，“会”と“能”が互換できるのはこの共通点によるものである。

## 4.2 “会3”と“能”の語義の相違点

“会3”と“能”は使用上入れ替えできない現象がある。それは“不会”にある個別の原因を除いて、<sup>(5)</sup>その他はすべて“会3”と“能”の語義の相違点からきている。“会3”と“能”の語義の相違点は、一つは“会3”は語義の重心が後ろにあり，“能”は重心が前にあるということ。もう一つは推測される行為が「動作主のコントロールできる行為」である時，“会3”は動作主の「主観的な決定」を推測し，“能”は動作主が有する条件を推測するという点である。

### 4.2.1 “会3”の語義の重心は後ろに，“能”の語義の重心は前に

“会3”の所在文を「X会Y」，“能”を「X能Y」と表すと，“会3”はYに重心が置かれ、結果の出現するかどうかに着目している。一方，“能”はXに重心が置かれ、XにはYを実現する条件、Yに到達する条件が有るかどうかに着目している。すなわち“会3”の語義の重心は後ろにあり，“能”の語義の重心は前にある。4.1で“会3”と“能”は互換関係にあるが、やはり語義の重心に問題がある。たとえば、

[69]追我的人多了，今天我跟你离了，明天我就能（○会）找个比你强百倍的。（王・过）

例[69]で“能”を用いたのは「私」は「あなたより100倍良い人が見つかる」という条件を持っていることを強調しているからであり，“会3”では「あなたより100倍良い人が見つかる」という結果の出現を言っているに過ぎない。文脈によると、やはり“能”のほうが適切であると思う。

この語義の相違点により、特に「結果の出現」を強調する時は“会3”のみ使え，“能”は使えない。筆者は次のような「結果の出現」を強調する形式を見つけた。

I “会3”の前に将来を示す連用修飾語“将”などがある場合

[70]写出漂亮的流行病学调查报告，寄给世界卫生组织，然后我将会（\*能）被邀请参加世界卫生组织年会。（池・霍）

[71]你还年轻，有朝一日，你会（\*能）找到个比我胜强十倍的好青年。（老・方）

[70][71]について“将”と“有朝一日”を取ると，“能”も用いることができるが，“会3”の前に“将”と“有朝一日”を付け加えると、将来を表す連用修飾語が「結果の出現」を際立たせてしまうので，“能”での入れ替えができない。

II “会3”が“的”を伴う場合

[72]我呐呐地说：我以为电话不会（\*能）通的。（王・紫）

[73]不过，衣服算不了什么：身上的伤不久就会（\*能）好的。（老・祥）

前と同じように、文末の“的”を取ると，“能”も用いられるが、文末に“的”を伴うと、形式上から語義の重心が後ろに置かれていることを示し、したがって“能”で入れ替えることができない。<sup>(6)</sup>史有为（1994）は，“会”は“的”を伴うが，“能”は“的”を伴うことができなく、そして“会”が伴う“的”は平叙文に限り用いられることを発見したが、その原因についてはのちの検討課題とした。“的”は語気助詞であり、実現できるという結果を強調する働きがある。疑問文は「結果」に対する問いかけなので、強調するのは成り立たないと筆者は考えている。

III “会”の後に否定形が来る場合

[74]我知道见到那两个卑鄙的家伙，我肯定会（\*能）控制不住自己。（王・一半）

[75]幸亏康伟业就蒙住了眼睛，不然他的眼睛就会（\*能）没有地方躲藏。（池・来）

“会3”の語義は行為の結果Yが出現するかどうかに着目しているので、Yは肯定形でも否定形でもかまわない。一方“能”の語義はXにYを実現する条件、Yに到達する条件が有るかどうかに着目しているので、Yが否定形の行為だったら、Xには条件の必要性がなくなり、“能”も成り立たなくなる。

4. 2. 2 推測される行為が「動作主のコントロールできる行為」である際，“会3”は動作主の「主観的決定」を推測し，“能”は動作主が有する条件を推測する  
まず次の二つの例を比べてみよう。

[76]听我的话呢，我会（\*能）帮助你找条正路儿，不听我的话，你终久是玩完！（老·龙）

[77]我哥能（\*会）帮您的忙，孟先生，他又会做，又会唱。（老·鼓）

上の二例では“会3”と“能”は入れ替えできない。[76]では「私があなたに真っ当な道を探すかどうか」は「私」の決定にかかっていることを言っているのに対し，[77]では「兄にお手伝いする条件が備わっている」ことを言っている。

このような違いのため，“帮助／帮忙”が述語になる二人称の疑問文では“会3”は使えない。たとえば，

[78]你能不能（\*会不会）帮我一个忙？

人に助けを求める時，礼儀を持って接する必要があるので，“会3”を使うことはできない。ただし，“会3”は二人称疑問文に使えないと言うのではない。

[79]我要是掉到江里，你会救我吗？

“会3”を使ったのは完全に“你”の主観的決定を追求するためである。もしも“能”を使うと，“你”に条件（内的，外的，願望）があるかどうかあいまいな聞き方になり，答える人は“不会游泳”と答えてもかまわない。

“会3-II”と“能”の間にはこのような語義の相違点が見られる。このため，“会3-II”の用例を“能”に変えることはできない。“能”と入れ替えると，意味も変わってしまう。

“会3-II”の用例を挙げて，確認してみよう。

[80]她回头一看，发现得屋是回家以后疯的，而不是象大家认为的在外面疯的，她再也不会（\*能）回家了。咚儿打定主意从此不再回家，所以三年里只给家里寄了三封信。（池·你是）

[81]在舒适的异国他乡，有一个终身视我为迷的外国丈夫，同样，我也不会（\*能）去了解他，我们至死都保持着对彼此的神秘。（池·你）

[82]我坐在人民纪念碑的长长方阶上等吴迪。我也不知道她会不会（\*能不能）来，爱来不来，反正今天不错，暖风熏熏。（王·一）

[83]其实你们即便请我，我也不见得会（\*能）去。（王·你）

例[80]“她再也不会回家了”にある“会”は“她”自身が“不回家了”と決めたということ推測するが，もしも“会”を“能”に，“他再也不能回家了”と直すと，客観的な条件の支障で，“他”は“回家”ができなくなったことを推測する意味に変わってしまう。そのほかの用例も同じように説明できる。

同様に，推測される行為が「動作主のコントロールできる行為」である際，“能”の用例を“会3”に変えることもできない。“会3”と入れ替えると，意味も変わってしまう。

[84]有时候他也往远处想，譬如拿着手里的几十块钱到天津去。……虎妞还能（\*会）追到他天津去？在他的心里，凡是坐火车去的地方必是很远，无论怎样她也追不了去。（老·祥）

[85]虽然是老婆给买的，可是慢慢的攒钱，自己还能（\*会）再买车。（老·祥）

例[84]“虎妞还能追到他天津去？”にある“能”は反語文で“虎妞”に“天津まで彼を追いかける”条件が備わっていないことを推測するが、もしも“能”を“会”に、“虎妞还会追到他天津去？”とすると、“虎妞”自身が“天津まで彼を追いかけない”と決めることを推測する意味になってしまう。[85]も同じように説明できる。

要するに、推測される行為が「動作主のコントロールできる行為」である際、“会3”と“能”が互換できない。それは互換した後に構文として成立していても意味が変わってしまうからである。“会3”は動作主の「主観的決定」を推測し、“能”は動作主が有する条件を推測する。

しかし筆者は、たとえ「動作主のコントロールできる行為」であっても、行為は願望類であれば、“会3”と“能”は入れ替えが可能であることを発見した。それではその例を見てみよう。

[86]他不会（○能）答应只管那个孩子，不嫁给那个病鬼。（老・全）

[87]他以为人家会（○能）领情。（老・鼓）

[88]他有钱，手头又大方，他会（○能）好好待承你。（老・鼓）

[89]有了钱，张文就会听（○能）话，服服贴贴。（老・鼓）

同様に、“能”の語義構成条件が願望条件である用例もほとんど“会3”と交換できる。

[90]曹先生是“圣人”，必能（○一定会）原谅他，帮助他，给他出个好主意。（老・祥）

[91]我如果有外遇了，你是不是也能（○会）礼尚往来？（王・给）

[92]我想知道有没有人能（○会）爱干我们这一行的姑娘。（老・鼓）

[93]“我爹妈能（○会）让我去上学吗？”“我去跟他们说。”（老・鼓）

これは「願望類コントロールできる行為」と「一般的なコントロールできる行為」が異なるからである。「一般的なコントロールできる行為」の実現は動作主の主観的決定によるだけでなく、動作主が有している条件にも関わっているので、このため“会3”は動作主の主観的決定を推測し、“能”は動作主が条件を持っていることを推測するという分業が成立するのである。しかし、「願望類コントロールできる行為」の実現は動作主の主観的な願望だけで決定される。普通、動作主の主観的決定は願望に合致するものなので、“会3”を使うことができる。“能”の語義構成条件の中に「願望条件」もあるので、“能”も使用可能なのである。

「願望類コントロールできる行為」と反対に、「判断類コントロールできる行為」は“会3”のみ使え、“能”は使えない。例を挙げると、“会3”が“以为，觉得，主张，看，是”等判断動詞の前に来ると、“能”は使えない。

[94]要不是闻达走了出来，在台阶上迎接我们，我真的会（\*能）以为是一场梦。（池・霍）

[95]那时我父亲已先走一步，否则，他会（\*能）认为这些谴责同样是真对他的，那样的话，我当真就要为朋友们的行为承担后果了。（王・动）

[96]他已经习惯了表演，会（\*能）不由自主地觉得身边所有的人都是听众。他应该对他们笑，友好地打手势。（老・鼓）

[97]“总是讲我们没目的，可长此以往，别人会（\*能）对我们怎么看？能相信我们吗？”  
（王・你）

どうして「判断類コントロールできる行為」の前に“会3”だけが用いられるのであろうか。答えは簡単である。「判断類コントロールできる行為」の実現は動作主の主観的決定によるだけで、他の条件を必要としないので、動作主の主観的決定を推測する“会3”が使われ、動作主に実現条件が備わっていることを示す“能”は使われないわけである。これはまた、“会3”と“能”のこの語義の相違点における形式上の証明だと見なすことができる。

#### 4.3 教学の観点からまとめた“会3”と“能”の使用条件

以上の探究では、“会3”と“能”の語義の共通点と相違点について、どういう場合に“会3”を使い、どういう場合に“能”を使うかという描写にとどまらず、その背後にある原因を解明することが筆者の狙いである。しかし、教学上では単に“会3”と“能”の使用条件を理解させることに重点が置かれるので、教学の観点から次のようにまとめてみる。

- 1 “会3”と“能”が入れ替え可能：推測される行為が「コントロールできない行為」  
又は「願望類コントロールできる行為」
- 2 “会3”と“能”が入れ替え不可：推測される行為が「一般的なコントロールできる行為」
- 3 “会3”が使われ“能”が使えない：Ⅰ“将”など将来を示す連用修飾語＋会…  
Ⅱ会…的  
Ⅲ会＋不／没…  
Ⅳ会＋「判断類コントロールできる行為」

これ以外に“不会”を“不能”に入れ替えると、“不能”は「禁止の意味」になることに注意しなければならない。

## 文 献

1. 相原 茂1997年《謎解き中国語文法》，講談社現代新書
2. 黄麗華1995年「中国語可能表現の「能」「可以」「会」，《日本語研究》15号，東京都立大学国語学研究室
3. 吕叔湘1980年《现代汉语八百词》，商务印书馆
4. 刘月华等1982年《实用现代汉语语法》，北京语言学院出版社
5. 史有为1994年〈得说“不能来上课了”〉，《汉语学习》5期
6. 渡辺麗玲1999年〈助動詞“能”与“会”的句法语义分析—以表示能力和可能为中心〉，《现代中国語研究論集》，中国書店

7. 许和平1992年〈试论“会”的语义与句法特征〉，《汉语研究》第三集，南开大学出版社
8. 鲁晓琨2001年〈助动词“能”的语义构成及其肯否不对称现象〉，《现代中国语研究》(总3期)，朋友书店

(注)

- (1) 许和平(1992)は“能”と“会”の褒貶上(プラスの意味とマイナスの意味)の対立を見つけた；史有為(1994)は“会”が第一人称の文に用いられるときには「主観的決定」を表すと述べている。この結論は一面的ではあるが、本研究も啓蒙を受けた。相原(1997)は「技能」について研究を進め、《八百词》にある“会”の“能力”と“善于”という二つの意味項目を「技能」にまとめ、「技能」を「典型的な技能系」と「誰でもやる部類」に分類することによって、両者の区別を解明した。
- (2) 许和平(1992)は“会”が「客観可能」を表す説は妥当でないとし、その用法は「予見用法」「可予測性用法」「虚拟用法」「解釈用法」の四つにまとめた。この分類は統一標準に基づいたものではない。このほか、黄麗華(1995)は“会”の意味を「ことがらがごく自然に成立する」とまとめたが、これは不適切だと思う。
- (3) 『八百词』“善于”の意味を“会1”の特別表現として見なす。これについて、相原(1997)のp15-26をご参考ください。
- (4) 许和平(1992)はこの現象に若干触れ、「水一结冰就会膨胀」のような例文を挙げたが、Bに相当する例を挙げていない。
- (5) “不能”には「禁止の意味」もあるので、“不会”を“不能”で入れ替えると、「禁止の意味」になる場合があるので、その際“不会”は“不能”で入れ替えられない。たとえば、  
你怎么知道？田园决不会(\*能)对你讲，当时你在那儿？(王・我)
- (6) 下例のように“的”を取っても“能”を用いることができない場合もある。その原因は“会3”と“能”のもう一つの語義の相違点にある(4.2.2を参照)。  
闻达说：你这个小丫头，又来将我的军，以为我还是那么窝囊？不，我有绝对的权威了。你放心地走吧，我会(\*能)马上让他们去办的/我会(\*能)马上让他们去办。(池・霍)

例文出典

(王・编)(王・你)(王・一半)(王・紫)(王・无)(王・过)(王・枉)(王・动)(王・给)(王・许)(王・我)(王・橡)は王朔の《编辑部的故事》《你不是个俗人》《一半是火，一半是海水》《紫珀红尘》《无人喝彩》《过把瘾就死》《枉然所供》《动物凶猛》《给我顶住》《许爷》《我是“狼”》《橡皮人》を表す。

(老・祥)(老・鼓)(老・方)(老・荷)(老・全)(老・龙)は老舍の《骆驼祥子》《鼓书艺人》《方珍珠》《荷珠配》《全家福》《龙须沟》を表す。

(池・来)(池・你)(池・你是)(池・霍)(池・云)は池莉の《来来往往》《你以为你是谁》《你是一条河》《霍乱》《云破处》を表す。